

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年10月18日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

今日は短いです。

1個目、2.の審査会合、会見などのうち、2ページ目を御覧ください。前回のブリーフィングで申し上げたかもしれませんが、10月21日月曜日は、(5)にございますとおり、翌日22日がお休みですので、記者ブリーフィングを14時30分から月曜日に行わせていただきます。

1枚おめくりいただきまして、3ページ目を御覧ください。一番上から参ります。

10月24日木曜日、(8)第787回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは関西電力・美浜発電所3号機の特定重大事故等対処施設の設置変更許可、また、四国電力・伊方原子力発電所3号機の工事計画認可、これらに関しまして審査を行うものです。

続きまして、その下、10月25日金曜日、(10)第308回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは日本原燃・再処理施設ほかの事業変更許可に関しまして、10月4日の現地調査の結果を踏まえて、八甲田山の火山影響評価について議論をするものです。

続きまして、その下、(11)第788回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは北陸電力・志賀原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、6月14日の会合で説明のあった破碎帯の追加ボーリング調査の結果について、事業者から説明を受けるものです。

審査会合の関係は以上となりますが、参考で「3.その他」でございます。

(1)サルキシャン・アルメニア大統領の訪問、こちらは24日木曜日にアルメニア大統領の表敬訪問がございます。委員長が対応します。これは即位の礼で訪日されたアルメニア大統領の御希望で委員会を訪問することになったものです。

取材自体はクローズとさせていただきますが、写真等の提供は可能でございます。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。イナムラさん。

○記者 再処理工場の審査ですけれども、現地調査の八甲田山以外の出戸西方断層についての結果については、これは次回に持ち越しということなののでしょうか。

○児嶋総務課長 今回は火山影響評価の部分だけです。

○記者 最後に1点、表敬訪問のアルメニア大統領なのですけれども、これは何か更田委員長というか、日本の規制委員会と何か関係があって、どういう経緯でこの訪問が実現したのでしょうか。

○児嶋総務課長 元々別に我々とそんなに直接の、または更田委員長と直接のお知り合いではないのです。アルメニア大統領御自身は物理学の教授らしいのですが、恐らく話題というか、関心事項は今調整中なのですけれども、アルメニアにもPWRが2基ございまして、その観点で、恐らく原子力規制に関して、連携とかの可能性について議論がなされるものと思います。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。フクオカさん。

○記者 日経のフクオカです。

今に関連しまして、アルメニア大統領が来られるということなのですけれども、国家元首ですよね。国家元首が規制庁に来るというのは、これは初めてなののでしょうか。

○児嶋総務課長 初めてです。我々も緊張しております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—